

情熱 責任
真摯 覚悟

埼玉県議会議員

宇田川ゆきお 県政報告

埼玉県議会

平成 28 年 3 月 30 日発行 埼玉県議会自由民主党議員団 宇田川ゆきお県政事務所
〒340-0801 埼玉県八潮市八條 393 Tel. 048-932-4055 Fax. 048-932-6205

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。



平成28年度予算一般会計 1兆8805億2600万円 (平成27年度 1兆8289億9800万円)

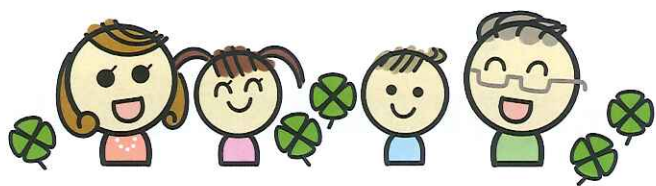
平成 28 年度の埼玉県予算が確定し、予算額は前年度比 2.8%増の 1 兆 8805 億 2600 万円（一般会計）です。

県民の日常生活・福祉向上のために適正な執行を期待しながら成立した予算となっています。

宇田川ゆきお 予算特別委員会質疑

子育て世代包括支援センターについて

埼玉県では 14 年後の平成 42 年までに出生率 1.78 を目標にしていますが、現在は 1.31。目標を達成する為には二人目を安心して産み、育てる環境が必要だと思ふ。はたして、「子育て世代包括支援センター」がどの程度の機能を持つものなのか？県民にアピールするための具体的施策を提示しながらサービス内容を周知させていただきたい。



埼玉県では「平成 28 年度当初予算案における主要な施策」資料のなかで次のように記述しています。

妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の構築

◆目的 妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対して、ワンストップで切れ目ない相談支援を行う子育て世代包括支援センターを設置運営する市町村を支援し、安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを進めるとともに児童虐待の発生を予防する。

として、予算総額 1 4 7, 3 0 6 千円を計上しています。

事業概要

(1) 子育て世代包括支援センターの整備促進
(新規) 5 9, 6 3 1 千円

妊娠期から子育て期にわたる相談支援を行う子育て世代包括支援センターを整備し、保健師等の専門職を配置してきめ細やかな支援を行う市町村に対し、設置・運営費を補助する。あわせて、市町村の保健師等が専門的知識を身に付けるための支援を行う。

(埼玉県保健医療部資料より抜粋)

桜の花が咲き、春の訪れが実感できる季節になりました。県議会では平成 28 年度の予算が成立し、新年度へ向けて動き出します。2 月定例会で驚いたことは、平成 27 年度補正予算という名目で多額の減額（使い切れなかったので返金）がありました。

県民のために予算をとっておきながら「使えませんでした」で済む話ではなく「責任」の所在を考えさせられました。これからも問題意識を持って県政に挑んでまいります。

埼玉県議会議員 宇田川 幸夫

ふるさと八潮・再発見 Vol.3

3 月 6 日に八潮市郷土研究会主催の史跡巡りが開催され、明治 40 年（1907 年）郷土教育のために作られた「八條唱歌」で歌われる史跡を探りました。歌詞の中に興味ある記述があるのは、2 番で「天然瓦斯の水白し」と 5 番で「瓦斯の名所もほど近く」と書かれているところです。これは、明治 36 年（1903 年）に八幡神社池脇に天然ガス採掘のためのボウリングをし、会田家まで配管、庭園や室内をガス灯で灯したことによります。八潮は天然ガスのフロンティアでした。

地域の歴史であっても 100 年を超えると語られることも無くなります。当時の天然ガスフィーバーを想像しながら「八潮市の魅力」をあらためて創造したいものです。



ふるさと八潮のまちづくりに全力投球

埼玉版ネウボラについて（関連）

出産・子育ては大変なストレスがかかるものであることを認識すべきであり、他自治体の施策の動向を見ながら「産後うつ」の早期発見から「産後うつ」を発生させない取り組みを目指すべきです。

また、3月15日は確定申告の最終日であり、昨年に出産した家庭には税のペイバックがあると聞き、0歳児の世話をしながら書類を作成する困難さを想像。

「産後うつ」だけでなく、妊娠から出産・子育て、そして確定申告の書類作成まで埼玉版ネウボラで解決策を考えていくべきだと思うので検討して欲しいと力説。

つまり、予防的支援の視点でポピュレーション・アプローチをふまえながら先進事例の研究を重ね、妊娠・子育てのワンストップサービスを実現すべきだということです。



指定難病対策費について

昨年度の減額補正の原因を究明しながら指定難病対策費について質問。これは、平成27年度の減額補正が指定難病対策費だけで31億7192万1千円も出してしまったことが前提となり、県民の福祉向上で約32億円ものムダ計上が明確になってしまったことを確認。

見込み違いだと言って、その責任は誰が負うのか不明。たとえば約32億円あれば、こども医療費・ひとり親家庭医療費・重度心身障がい者医療費等の拡充にまわせたはずであり、この執行残を出してしまったことは県民の貴重な税金を効率よく使ったとは言えない。つまり公金の意味を強く自覚して欲しいと言及しました。

指定難病対策だけでなく、県政に責任を持って執行する立場にある公務員として様々な課題に積極的に対処する姿勢を貫いていくことを期待し、保健医療部の質疑を終了。



第11回 川の駅・中川やしお花桃まつり

八潮市には川に囲まれた地域特性を活かす「まちづくり」が求められています。3月10日（木）～3月30日（水）まで「花桃まつり」が中川の河川敷において開催され、多くの市民で賑わいました。川の駅構想の中で埼玉県と共に防災を考えながら、八潮らしさを川と花でつなぐ祭典へと盛り上げましょう。



教科用図書選定について

平成27年に小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領が改定され、平成30年度から新しい教科「道徳」が順次実施されることから「教科道徳」の教科書検定の申請が平成28年度小学校、平成29年度中学校で実施されることについての問題。

検定審査中は外部に漏れないように情報を適切に管理しなければなりません。しかしながら「教科書発行者による謝礼問題」が明らかとなり教育の信頼を裏切ることに至ったことをふまえて質問しました。

まずは、道徳教科書の検定・採択に向けた一連の流れに対して適正に対処すべきだと言うこと。次に現場の教職員に教育委員会の権限を行使し再発防止の報・連・相を含め具体的施策を講じること。そして教科書採択に関して情報公開をすべきと提言。



超重度心身障がい児者への対応

超重度心身障がい児者に対応するレスパイトケア（在宅で乳幼児や障がい者、高齢者などを介護（育児）している家庭に、支援者が介護（育児）を一時的に代替えしてリフレッシュしてもらう）について、利用の促進を図るために「ハンドブック」を作成するとの回答。これにより施設利用や制度の概要が理解しやすくなります。



東埼玉道路建設促進議員連盟設立

東埼玉道路は、八潮市内の外環道を起点として春日部市内の国道16号線に至る全長約17.6kmの地域高規格道路です。現在は八潮市内から吉川市内までの約5.7kmの一部が開通していますが、並行する国道4号線の交通渋滞緩和や沿線地域の開発事業を進めるためには、一日も早い完成が強く望まれています。

このように、交通渋滞の大幅な緩和や物流の効率化・地域の活性化に大きく貢献するためには、最大限の努力をしていかなければなりません。そのため、3月15日に「埼玉県東埼玉道路建設促進議員連盟」が設立され、宇田川ゆきおは設立発起人として名を連ねました。

編集後記

春の甲子園選抜高校野球が終わり、プロ野球のパナントレースが始まった。まさに球春到来である。スポーツはどんなスポーツでも爽やかさが感じられるもの。それなのにスキャンダルが次から次へと報じられ青少年への悪いイメージが心配される。政治や行政においても分かりやすく公明正大、爽快感が必要だと思う。宇田川県議は爽やかに仕事をこなすタイプ。2月定例会は子育て・福祉問題に焦点を当てて切り込む姿が印象的だった。